江差に大漁の愛を～ニシンでつながる輪～

北海道教育大学函館校国際地域学科
地域協働専攻古地順一郎ゼミ
チーム：江差未来Lab

1.江差町の現状と課題：これまで私たちは江差町がより活気ある街になるために様々な活動を行ってきた。まずは江差町の簡単な説明と課題を提示する。

江差町ってどんなまち？？

人口　7376人（2020年年9月）
面積　109.48km²
江差町ホームページから

①檜山内で**観光者が最も多い**地域で、檜山各町につながる道路が交える場所であることから、**檜山の中心地**と呼ばれています。

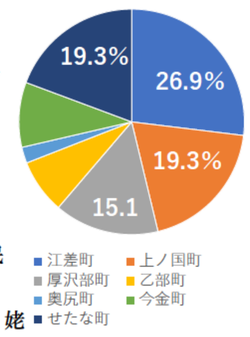
②江戸時代から明治時代まで栄えていた江差のニシン漁の文化は、**日本遺産**として認められています。

③住民のアンケートで、自然が豊かという回答が非常に多く、**過ごしやすさ**が住民に認められています。

④江差かもめ島祭り、江差追分全国大会、姥神大神宮渡御祭という第3祭りがあり、特に姥神大神宮渡御祭では、町内に泊まりきれないほどの観光客で溢れます。

⑤小さな町であるからこそ、**近隣とつながりやすい**という良さがあります。

檜山管内入込総数



「令和元年度檜山管内観光入込客数調査」及び「令和元年度檜山管内訪日外国人宿泊客数調査」結果について　北海道檜山振興局産業振興部商工労働観光課

江差町の歴史

「江差の五月は江戸にもない」と、その繁栄をうたわれた江差町は、最も早く開港した港町の一つで、１７世紀からの日本海航路北前船の活躍を基盤に檜材交易そしてニシン漁とニシン取り引きによる隆盛は明治初期まで続きました。

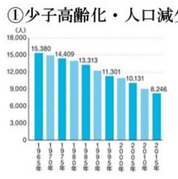
この極めて古い歴史を持つ江差には、ニシンと檜材に関連した産業建築ともいえる問屋、蔵、商家、町屋、社寺などの歴史的建造物や史跡、旧跡が数多く残されています。

江差町では、以前からこれらの歴的資源を生かして活性化を図ろうという動きがあり、町では平成元年から、特に歴史的資源が、数多く集積している下町地区の「中歌町、姥神町一帯の旧国道沿い地区」（通称いにしえ街道）をモデル地区として、総合重点的整備を行なう歴史を生かすまちづくり事業を推進しています。

１８９７年　ニシン水揚げ量、ピークに　朝日新聞DIGITAL

江差町の課題

①少子高齢化・人口減少



江差町の人口　2019年調査

1965年ごろから減少し続けている

②若者世代の流出

江差町高齢化率　2019年調査

3人に人1は高齢者

課題を踏まえて

③にぎわいある市街地づくり

下町・上町・かもめ島周辺の活性化の再考

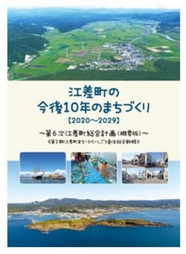
④道路交通網の維持と再構築

バス・タクシー利用者の減少
江差町へのアクセスが希薄

⑤インフラや公共施設の老朽化

インフラや公共施設の維持費は毎年1億円以上。使われ方の再検討の必要性

江差町の方針



江差町の今後１０年のまちづくり
【2020～2029年】～第六次江差町総合計画

総合計画が定めた目指すまちの姿
「誇りある暮らしを未来へ紡ぎ、みんなでつくる自分たちごとのまちづくり エエ町、江差」

経済基盤を持続させる産業の振興

あたたかなつながりのある地域・ひとづくり

住民が元気に安心して暮らせる生活環境づくり

住民とともにあり続ける行政運営

特に力を入れているのは…
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

若者の呼び込みのために仕事をつくることを重点的目標とした。

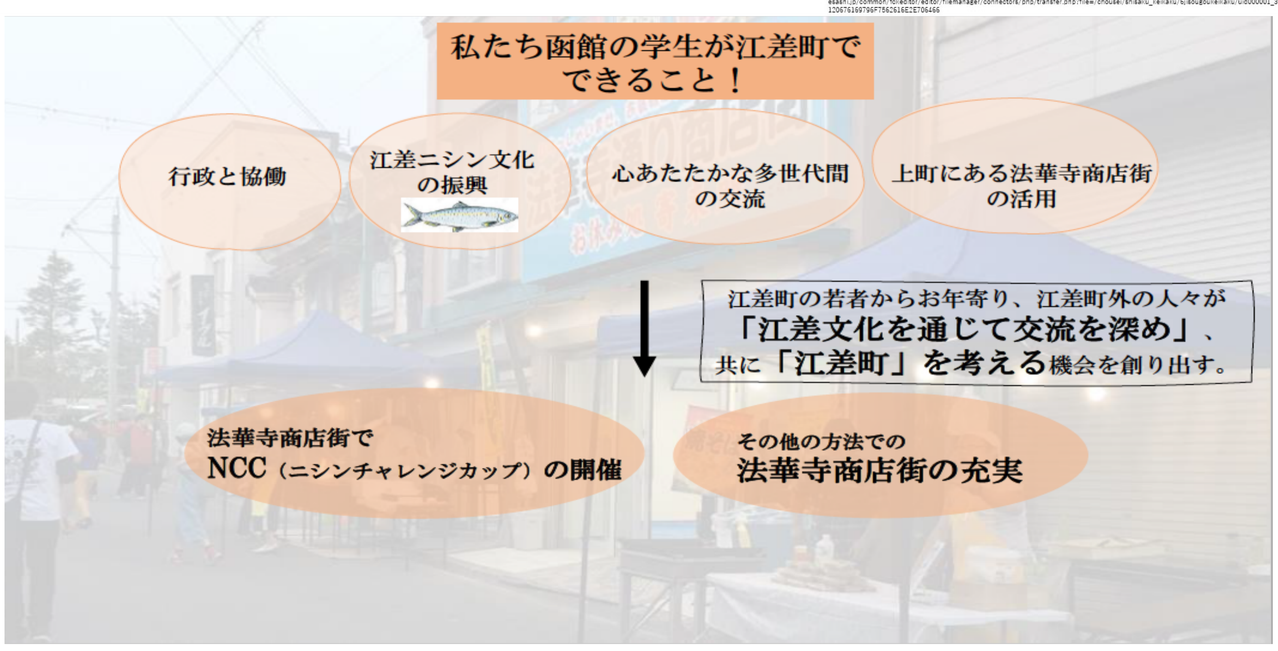
①江差ブランド製品づくりで仕事をつくる
②江差文化体験交流で仕事を作る
③江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる

「江差町の今後10年のまちづくり　2020～2029～第6次江差町総合計画（original）～」https://www.hokkaido-esashi.jp/common/fpi-editor/editor/filemanager/connectors/php/transfer.php?file=chouse/shisaku_keikaku/6jisougoukeikaku/uid000001_303_1206761697967556261 6E2E706466

2. 私たちの活動の概要

以上の課題等を踏まえて、江差町にアプローチを行っており主にコミュニティや町内外の人とのつながりの形成の場を意識し、江差町法華寺通り商店街をフィールドに活動している。

昨年度は具体的な取り組みとしてNCCを開催。今年度は今後様々な取り組みを展開するために、各地の商店街の事例を調べ、江差町法華寺通り商店街に最適な提案ができるように準備をしている。



3.私たちの取り組みについての詳細

NCCとは？

江差町のお店の人や法華寺通り商店街の方などにニシンを使用した料理を作り、優勝者を決める大会

第１回NCCの成果と課題

2020年2月22日に開催

第1回グランプリはイタリア風居酒屋パレスさんのラグーパスタ！

成果

江差町の飲食店がニシンを使った料理をお披露目！
お客さん・審査員ニシン料理を楽しみ投票を行った。

・ニシン＝江差　のイメージがついた
・江差の人と学生が共同でイベントを開催したことが　　高評価
・ニシンにこだわった面白いイベントであった

約100名のお客様がニシン料理コンテストを楽しみました。

課題

若者の参加が少ない
魅力を感じてもらえるようなアプローチが必要
ニシンを身近に感じてもらうために料理以外でアプローチしていく

以上を踏まえて今後は３つの視点からNCCをより印象的で効果的なイベントに発展させたい

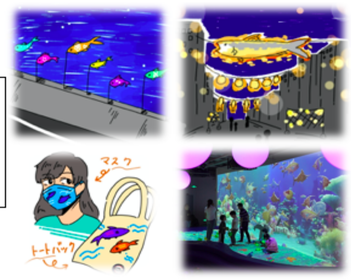
料理部門

去年からの継続で、ニシン料理を通じてニシンに親しみを持ってもらうことを目的とする。

・第１回を踏まえて開催
・一般投票と審査員投票で審査をする
・江差産の食材の使用することで加点

アート部門

視覚的にNCCをインパクトあるものに"楽しい"思い出を形や写真に残してNCCを継続的なイベントに



江差のニシン文化を意識した装飾やアートワークを開催
・デジタル水族館
・マスクやトートバックの製作
・ミニにしんのぼりの製作　etc

Nishin Challenge Cup in Esashi Hokkaido

スポーツ部門

ニシンをテーマにした競技で、江差の将来を担う子どもたちにニシンに親しみを持ってもらう。

提案されている競技
「ニシンクイズでニシン博士になろう！
「ニシンを守れ！陣取り大会」
「真ん中を狙え！ニシンダーツ」etc

商店街に対する取り組みの提案のために

江差町法華寺通り商店街を充実させるために効果的な施策とは何か、日本各地の商店街の取り組みを調べ検討した。

大きく分けて6種類の取り組みが行われていると明らかになった。そのうえで江差町法華寺通り商店街に対して取り組みを提案したいと考えている。

空き店舗・空き地の活用
→空き店舗や空き地を活用し人とのつながりの場を作り商店街に人を呼び込む
【具体案の例】
・空き店舗を子育てサロンに
・空き店舗を使いチャレンジショップを設置
・農産物直売所に
【参考商店街】
上溝商店街（神奈川県相模原市）
天神橋商店街（高知県四万十市）
ふれあい生鮮プラザ（千葉県）

地域住民に向けた取り組み
→地域の人により使いやすい商店街にすることで来る人を増やす
【具体案の例】
・寺子屋の活用
→既存の子ども向けのオープンスペース
・高齢者が使いやすいような仕組みを導入
【参考商店街】上溝商店街
(神奈川県相模原市)など

イベントの積極的な実施
→人が集まる場所としての印象を強める
【具体案の例】
・町民が提案したイベントを開催
・毎週末・毎月など頻繁にイベント開催
【例】駒川商店街(大阪府大阪市)

民間と連携した取り組み
→民間と連携することで積極的な印象を持たせ活気を持たせることを期待
【具体案の例】
・企業とタイアップしたイベントの開催
・ベンチャー企業と連携して商店街を利用
【参考】油津商店街(宮崎県日南市)　など

NCCの継続的な実施はここにつながる取り組みとして昨年度第一回を実施。今後も継続的に行っていく。

宣伝・広報の充実
→商店街の魅力や取り組みを発信し商店街に活発な印象を与え認知を図る
【具体案の例】
・商店街公式HPの作成・運営
→江差高校と連携するなどして継続的なものに
・商店街公式SNSアカウントの作成
→イベント、セール等の情報発信
⇒目に留まる可能性を上げることができるのでは

まちゼミ・ワークショップの実施
→商店街の交流人口を増やすとともに商店街の課題を自分事として捉えてもらうことを期待
【具体案の例】
・まちゼミの開校
→商店街の事業者が講師となって料理教室や手芸教室などを開講
・ワークショップや展示会の実施
【参考商店街】
燦ギャラリー（埼玉県川口市）
新ひだか得する街のゼミナール実行委員会（北海道新ひだか町）